



花湖さんは、本講座のネーミングライツパートナー株式会社国華荘（おと温泉「ひわ湖花街道」）のイメージキャラクターです。

花湖さんの

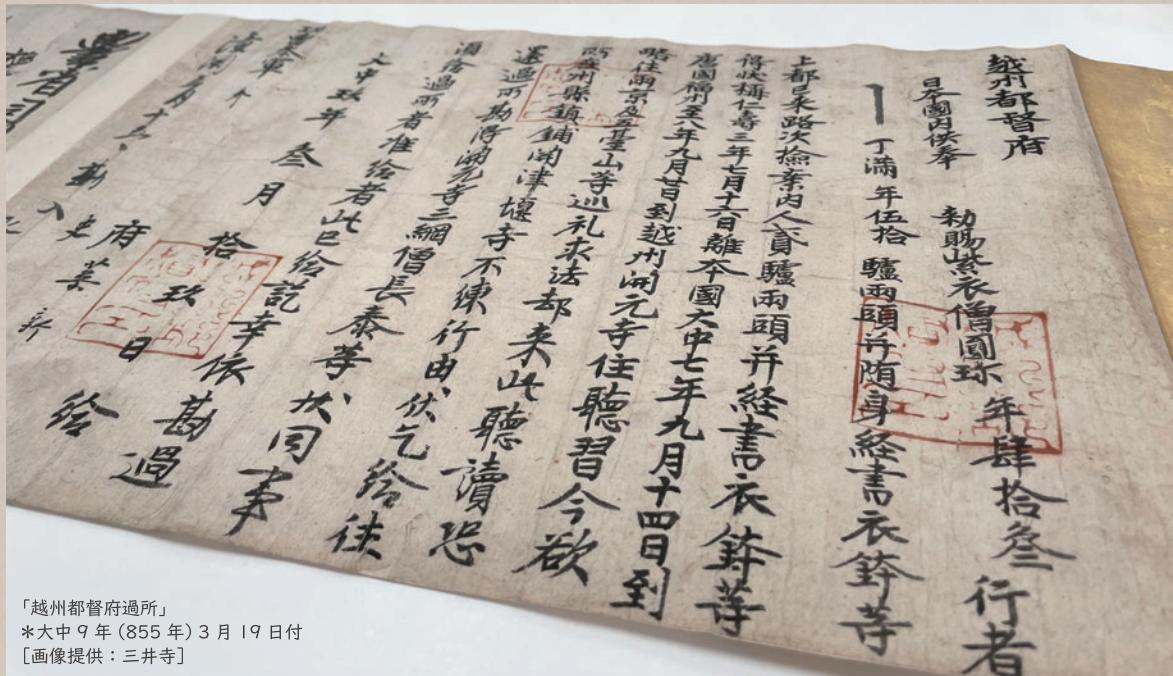
打出のコヅチ



近江には、国宝や重要文化財を含む多種多様な文化財が伝わっています。滋賀県文化財保護課と琵琶湖文化館では、これらの文化財を保護・活用するため、調査や保存修理、展示公開などさまざまな取組を行っています。本講座は、行政と博物館が協働して、滋賀の文化財をめぐるホットな話題を提供し、文化財を身近に感じていただくとともに、その魅力を広く県民の皆さんに向けて情報発信していくとする試みです。「打出のコヅチ」の一振りが、無尽蔵というべき滋賀の宝を魅力的に紹介します。

祝
ユネスコ
「世界の記憶」
国際登録決定

ちしょうだいし えんちんかんけいもんじょてんせき 智証大師円珍関係文書典籍 —日本・中国の文化交流史—



「越州都督府過所」
*大中9年(855年)3月19日付
[画像提供:三井寺]

「令和5年5月24日」



大津市にある天台寺門宗の總本山・三井寺（園城寺）が所有する国宝「智証大師関係文書典籍」と国宝「五部心觀」が、ユネスコ・世界の記憶に『智証大師円珍関係文書典籍—日本・中国の文化交流史—』の一部として登録されました。

特別講座を開催します！

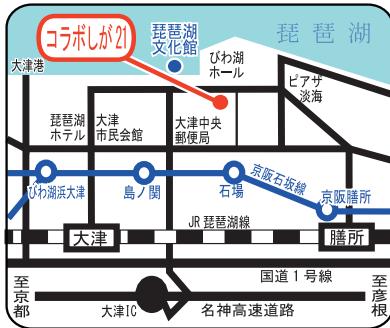
「世界の記憶」智証大師円珍関係文書の世界

講師：福家俊彦氏（三井寺長吏）



智証大師円珍（814～891年）が中国・唐に渡り密教の教えを日本にもたらしたその足跡と、
今に伝わる貴重な古文書や典籍類について、特別講師をお招きしご講演いただきます。

【会場】コラボしが21 3階大会議室
(大津市打出浜2-1)



【開催日時】

令和5年7月27日（木）
14:00～15:30（受付は13:30から）

【定員】定員140名（受講無料）
※先着順（定員になり次第締切）

【申込方法】6月23日（金）8:30より受付開始
電話・FAX・メール・ウェブサイトから
氏名／お住まいの市町名／電話番号
をお伝えください。

JR琵琶湖線膳所駅より徒歩約20分／京阪石坂線石坂駅より徒歩約10分
※会場には駐車場がございません。お車でお越しの方は近隣の駐車場（有料）をご利用ください。

【申し込み・問合せ】

滋賀県立琵琶湖文化館

[電話] ※平日のみ（受付8:30～17:15）
077-522-8179

[FAX] 077-522-9634

[メール]
biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

[ウェブサイトから]
<http://www.biwakobunkakan.jp>

6/23（金）8:30に
受付フォームを
開設します。



ユネスコ「世界の記憶」国際登録決定

「智証大師円珍関係文書典籍－日本・中国の文化交流史－」

- 国宝 「智証大師関係文書典籍」(46件) *宗教法人園城寺〔滋賀県大津市〕所有
- 国宝 「五部心觀」(1件) *宗教法人園城寺〔滋賀県大津市〕所有
- 国宝 「円珍関係文書」(8件) *東京国立博物館 所有
- 国宝 「円珍贈法印大和尚位並智証大師謚号勅書」(1件) *東京国立博物館 所有

1100年前の 日本と中国の 文化交流の記憶

今回登録された世界の記憶は、9世紀における日本と中国の文化交流の歴史を物語る史料群です。当時の中国・唐は東アジア世界に影響を及ぼす大帝国であり、本史料には大唐帝国の制度を示す文書の原本が完全な状態で含まれています。特に唐の役所から発給された通行許可書「過所(かしょ)」は、唐代の書式例を完全な形で伝えてきた世界で唯一現存する一次史料です。これらの文書の原本は、遣智証大師円珍(814~891年)が持ち帰って保管し、1100年以上にわたって伝えられてきました。



円珍は、853年から858年まで遣唐使として唐に留学し、日本での仏教普及に重要な働きをした人物です。日本天台宗の高僧で、第5代天台座主として園城寺を再興し、天台寺門宗の宗祖と仰がれてきました。9世紀の人物・円珍にまつわる膨大な文書典籍がまとまって伝來したことは、日本の宗教史上においても稀有な例といえます。

ユネスコ世界の記憶とは

世界的に重要な記録物への認識を高め、保存やアクセスを促進することを目的とし、ユネスコが1992年に開始した事業の総称。本事業を代表するものとして、人類史において特に重要な記録物を国際的に登録する制度が1995年より実施されている。

登録にかかる審査は2年に1回で、1か国からの申請は2件以内とされている。国際諮問委員会(IAC)の勧告に基づき、ユネスコ執行委員会において決定される国際登録のほか、「世界の記憶」アジア太平洋地域委員会(MOWCAP)等が決定する地域登録がある。



日本におけるユネスコ「世界の記憶」登録資料一覧

国際登録

- | (登録年) | (登録名) |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 2011年 [平成 23] | 山本作兵衛炭坑記録画・記録文書
／筑豊の炭坑で体験・見聞したことを基に描かれた炭坑記録画 |
| ② 2013年 [平成 25] | 御堂関白記 (みどうかんぱくき) ／平安時代、藤原道長が記した自筆日記 |
| ③ 2013年 [平成 25] | 慶長遣欧使節 (けいちょうけんおうしせつかんけいしりょう) 関係資料
／伊達政宗の家臣・支倉常長がローマで受けたローマ市公民権証書 (羊皮紙) や油彩の肖像画、当時のローマ教皇の肖像画、キリスト教の祭具など、江戸時代初期の日欧交渉の実態を物語る。 |
| ④ 2015年 [平成 27] | 舞鶴への生還／1945～1956 シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録 |
| ⑤ 2015年 [平成 27] | 東寺百合文書 (とうじひやくごうもんじょ)
／京都の東寺 (教王護国寺) に伝えられた日本中世の古文書 |
| ⑥ 2017年 [平成 29] | 上野三碑 (こうずけさんび) ／7世紀から8世紀にかけての古代の石碑3基 |
| ⑦ 2017年 [平成 29] | 朝鮮通信使に関する資料／17世紀～19世紀の日韓の平和構築と文化交流の歴史) |
| ⑧ 2023年 [令和 5] | 智証大師円珍関係文書典籍／日本と中国の文化交流の歴史 |

地域登録

- | (登録年) | (登録名) |
|-----------------|--------------------------|
| ① 2016年 [平成 28] | 水平社と衡平社／国境を越えた被差別民衆連帯の記録 |

